

# 人間発達科学 I

## 第8回

能力をどうとらえるか

---

# (1) 能力を調べたい

## —知能テストの誕生—

### ①能力とはなにか

- 「物事をなしうる力。はたらき」(『広辞苑』)
- 能力の教育学的定義の一例

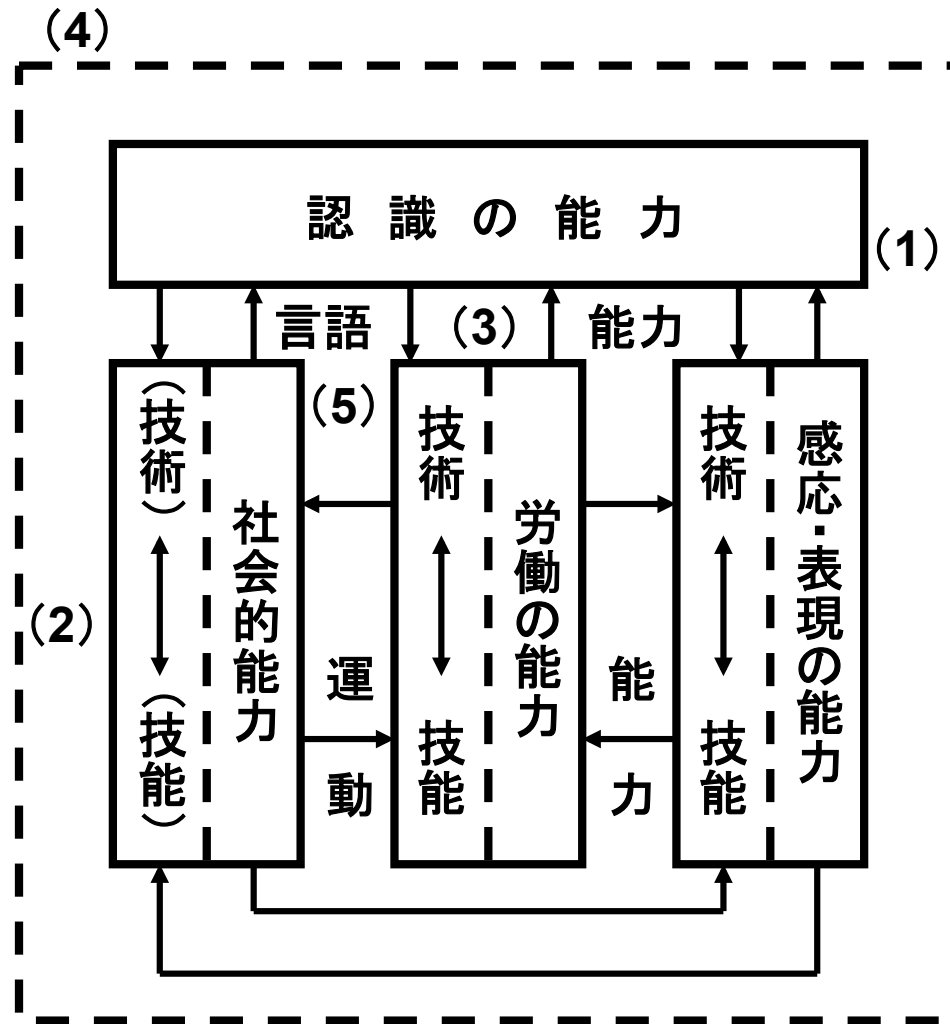
「人間がその心と身体で、特別ななにごとかを自分で思うように成し遂げることのできる力、そしてそのことで社会がその値打ちを認める結果がうみだされる、身に備わっている力」

(勝田守一『能力と発達と学習』国土社)

---

# 勝田の「能力モデル」

(勝田守一『能力と発達と学習』1990、国土社)



- (1) 認識の能力は他の三つに対して、特殊な位置に立つことを示したつもりである。
- (2) 社会的能力を技術・技能とするのは多分に比喩的である。それでカッコにいれた。
- (3) 矢印は相互に影響しあい浸透しあっていることを示す。
- (4) 点線の囲みは、全体が体制化していることを示す。
- (5) 言語能力・運動能力は、全体制を支える。

---

## ②測定意識の成立(中内、1988年)

- 前近代的能力認識からの離脱
  - Wundt(1832～1920)の実験
    - ・ハイデルベルク大学等で医学を学ぶ。
    - ・1860年ごろ時計による頭の良さの測定実験
    - ・頭の良さ＝知覚が鋭い＝即座に反応できる
    - ・1879年、ライプチヒ大学で世界初の心理学実験室を創設
-

---

- Itard の能力観

- ・能力は固定的・生得的なものではない  
→人間の実践により変革可能

- Galton の能力観

- ・能力は遺伝する
  - ・優生的結婚の繰り返しで人類の改良可能  
→優生学
  - ・能力は客観的な手続きにより測定可能
-

# ゴールトン



<http://scienceworld.wolfram.com/biography/Galton.html>

### ③知能テストの発明とIQの登場

- Cattell, J. (1860～1944)の精神テスト
  - ・握力
  - ・右腕の敏捷性
  - ・感覚閾
  - ・痛覚閾
  - ・重さの弁別閾
  - ・音に対する反応時間
  - ・色の名前をいう時間
  - ・50センチの直線を二等分
  - ・10秒間の時間判断
  - ・一度で報告できる文字数

(村上、2007年)

## ■ 知能テストの発明

- ・ Binet, A. (1857～1911)による
- ・ 「学業不振児」の特別学級を作るため

## ■ 知能テストの基本原則

- ・ 得点は生得的・永続的なものを示すのではない
- ・ 尺度は対象者をランクづけするものではない
- ・ 援助の必要性のある子は特別な訓練により改善が見込められる
- ・ 精神年齢の測定



# ビネー



<http://vlp.mpiwg-berlin.mpg.de/people/data?id=per309>

## ■ 知能テストの一例（1908年版）

### ・3歳児の問題

- ・自分の鼻・眼・口を指差す、絵の中の人と物の名前をいう、自分の苗字をいう・・・

### ・4歳児の問題

- ・自分の性別をいう、鍵・小刀・銅貨の名をいう、二本の直線を比較して長い方をいう・・・

### ・5歳児の問題

- ・二つの重さの比較、正方形の模写、10音節の文章を復唱、4個の貨幣を数える・・・

## ■ IQの考案

・ビネー：知能水準＝暦年齢－精神年齢

・シュテルン：IQ＝
$$\frac{\text{精神年齢}}{\text{暦年齢}} \times 100$$

→能力を固定的なものをみることに

## (2) 知能テストとレイシズム(グールド、1989年)

### ①「スタンフォード＝ビネー式テスト」の開発

- 移民社会アメリカへの知能テストの導入
  - ・Goddardが翻訳・導入(1908年)
  - ・Kallikak家の研究
  - ・知的障害者の入国を懸念
- Terman(1877～1956)によるテストの「改良」
  - ・「教育の効率化」という目的
  - ・「知能は生得的」
  - ・「人種・職業によって傾向に違い」

## ②陸軍対象のテストの実施

### ■ Yerkes の取り組み

- ・陸軍兵士175万人を対象→データの集積
- ・テスト結果（平均精神年齢）
  - ・白人：13歳／ロシア系：11.34歳／イタリア系：11.01歳／アフリカ系アメリカ人：10.41歳

### ■ 実施方法の問題

- ・劣悪な条件下での実施
- ・文化的条件の違いの無視

### ③「出身国別割当移民法」への影響

- 1924年7月施行
- 「精神年齢13歳では、民主主義が生き残れない」
- Yerkes の陸軍データが議会で採用
- 1890年の移民数をもとに移民を割当に
  - この年以後、白人以外の移民が増加
  - 事実上、アジア系移民は不可能

## ④ヘッドスタート計画とジャンセニズム

### ■ ヘッドスタート計画(1965年)

- ・アメリカ国内の人種・貧困問題への対応
- ・「文化剥奪」論

### ■ Jansen による批判(1969年)

### ■ 補償教育政策への反省

- ・「文化剥奪」論＝「文化欠落」論
- ・文化の差より将来像の欠落が原因では？
- ・補償教育はミドルクラスの文化の押し付け